

触手 女王 女の 絶 望



R-18
FOR
ADULT

触手王女の絶望

星月めろん

☆☆ めろんの星々





誰かのつぶやきで
私は目を覚ました

ん…

罪深い…?
…何のこと…



え…裸?
寒っ…



ここは…
どこ…?…?

ずっと…
考えているんだ

最も罪深いのは
誰なのか…と。

な…なに!?



いやあッ

な…!?

何なの
コレ……!!



モッ

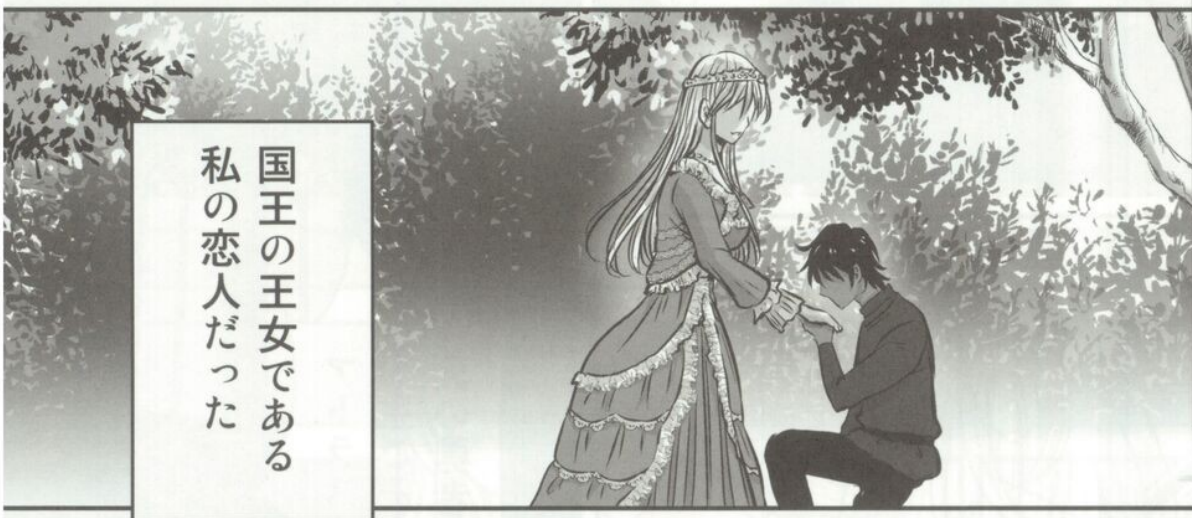
モッ

モッ



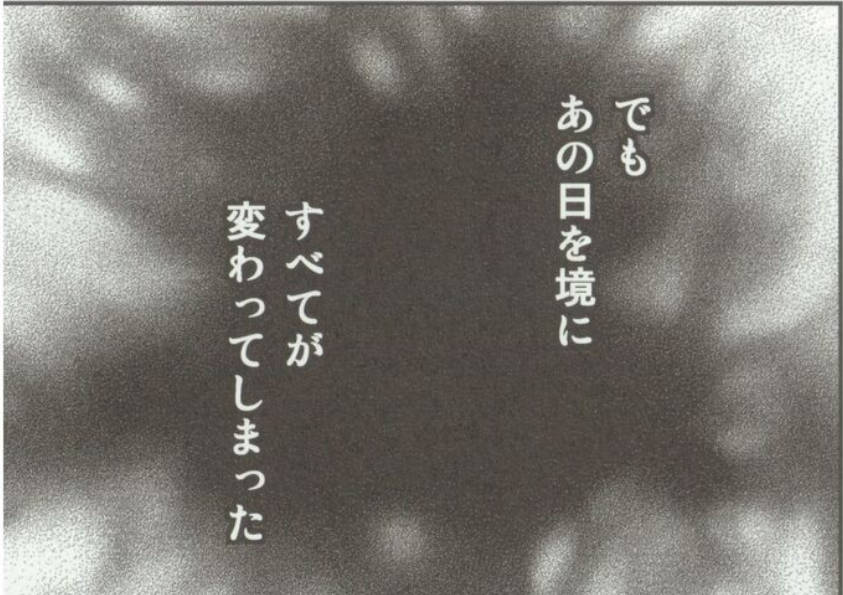


キミが裏切った
恋人のルークだ



国王の王女である
私の恋人だった

ルークは国王軍の
騎士隊長で



でも
あの日を境に
すべてが
変わってしまった



父も認めてくれ
結婚の約束も
交わっていた

1年前

森に巣食う魔王が
王国に攻めてきた。

その魔王を倒し
封印した騎士…

アトラスによって
私の人生は
変わってしまった。

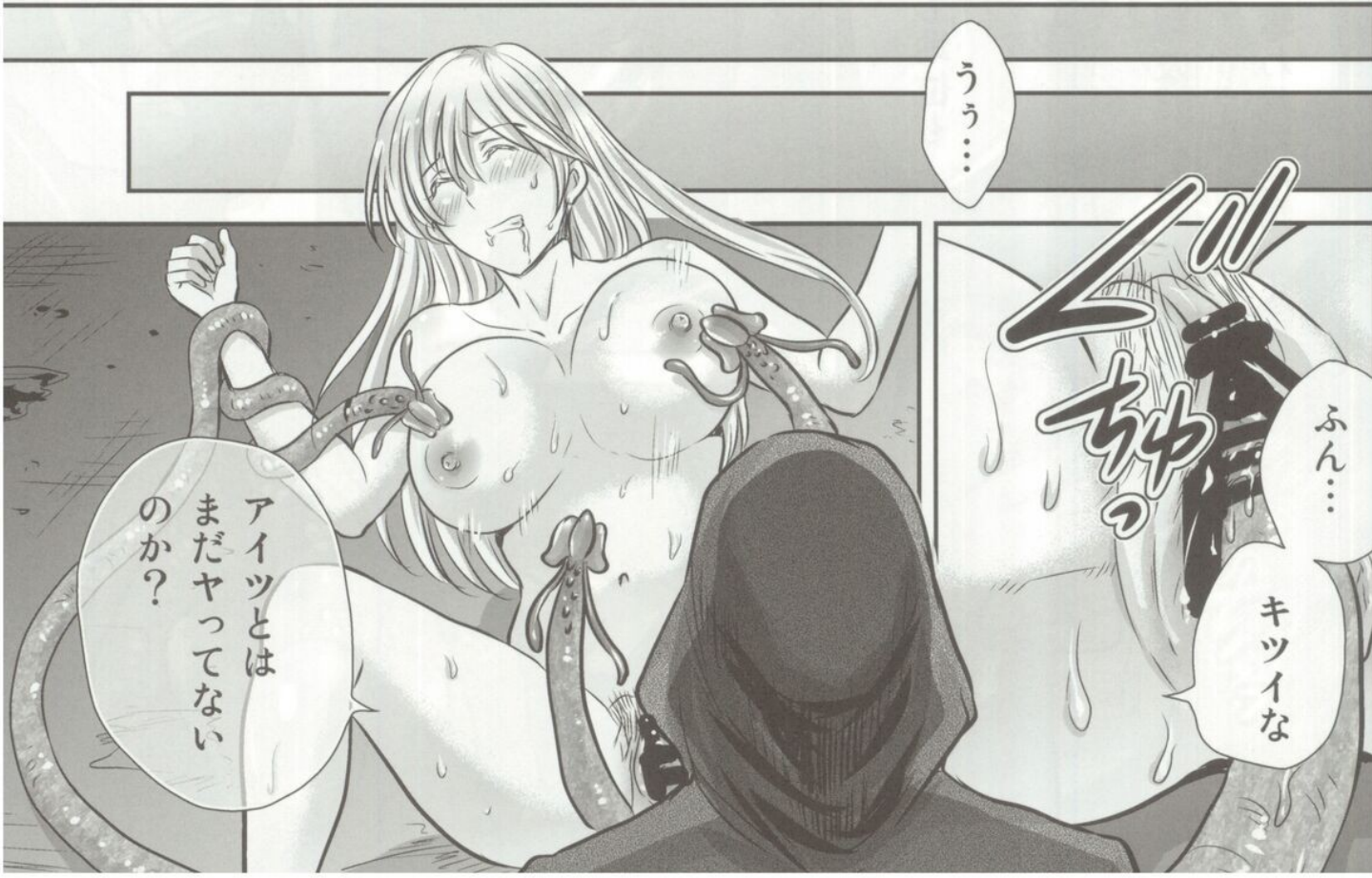
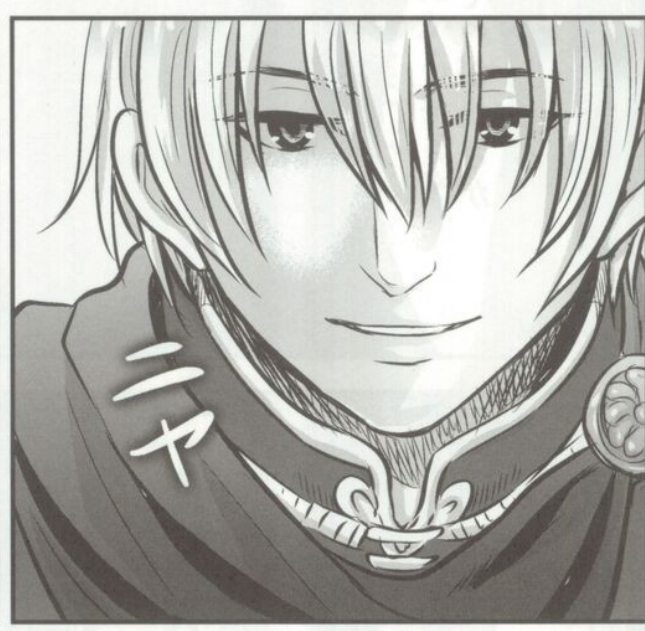
褒美は
何がよい？

アトラスよ
お主こそ
真の勇者だ

恐れながら…

国王のご令嬢…
ソフィア様を

妻に迎えるのが
私の望みです



…結婚式は
来週よ…

まだ共に夜を
過ごしていないわ

アトラスとの結婚が
決まってあなたは
行方をくらませた

それがまさか
怪物に姿を
変えていたなんて…

ルーク
どうして…？

はあ

はあ

…どうして
かって？

実に
分かりやすいと
思うが…？

俺は恋人も地位も
すべてを…

親友だった
アイツに
奪われたんだ

許せるはずがない

だからキミを
取り戻すためなら
なんでもしてやろうと
覚悟を決めたんだ…

すべては
キミのためだよ
ソフィア

姿が変わっても
俺を愛して
くれるだろう？

ぬる
ぬる
ぬる

そんな…

お…奥まで
入れないで…

あッ
いやあ……ッ

そうだな…
初めてが触手じゃ
ロマンティック
じゃないか



ふ…
ふぎけないで



では……
俺のが欲しいと
おねだりしてみる



くく…俺は
婚約者だぞ？

しきたりに従って
バカ正直に初夜まで
待ってやったのに



そのお上品な
お口でな!!



ほーら
まず
ナメろよ…



だ…
誰が言いなり
になんか…っ

おやおや…
あくまで口を
開かない気かい？



ではこっちの
お口に先に
入れようかな

ククツ：触手に
撫でられてただけで
すでにトロトロじゃ
ないか：



キミ…本当に
処女なのかい？



あ…
イヤッ!!



わ…私を
侮辱する
つもりッ!?

まあ…アイツとまだ
ヤツてないなら
処女だろうけどさ



あッ…いやあッ!!
やめッ…やめてエ
~~~~~!!



もうヤメて…  
ゆるして…

ブル  
ブル



どうした？  
まだ奥まで  
入ってないぞ…



ソフィア…  
そう怖がるな

やっと一緒に  
なれたんだ

これからは  
この古城で  
俺とともに暮らそう



さあ…俺を  
受け入れる!!

や…やめ…っ!!

ゴゴ

ゴゴ

ドド…

な…何なの  
その左手……

まさか…

ルーク…あなた…

まさか封印した  
魔王の力を  
取り込んだの…？

ああ…  
そうだ

さすが王女…  
察しがいいね

魔王を封印したのは  
アイツと俺だからな

解き方くらい  
知っているさ

な…!!

なんてことを…  
…んああッ!!



だからって  
暴走したら  
どうなるか…



…  
別に  
心配ない

今のところ精神は  
乗っ取られずに  
済んでいるよ



俺のほうこそ  
キミに問いたい

なぜ俺を  
裏切った？



…ソフィア…  
キミを  
奪い返すために  
考えた末のことだ



ちゅぷっ  
後悔は  
してない

わ…私は  
裏切るつもりなんて  
なかった…

ただ…逆らえ  
なかった…

王女と勇者の  
結婚という  
民からの期待に  
逆らえなかったの…!!

……

まあいい…  
もう過去の  
ことだ

今から  
やり直そう

…か…怪物になった  
あなたに愛されたって  
嬉しくないわ…

愛しているよ  
ソフィア…

このまま怪物に  
犯されるくらいなら  
舌を噛んで  
死んでや…



キミの見かけに  
反して強情なところ  
…好きだよ



んぐっ



んっん…!!



俺の触手の  
分泌液で

キミを  
イキっぱなしに  
してあげよう



そうそう…  
この触手は  
面白い分泌液を  
だすんだ

女をさらって  
試したんだが  
媚薬の効果か  
あるらしい…

トロ

トロ!!



女性を  
さらった？

あなた…何を  
してるの!?

んぐツ…

ふはっ



一人で暮らすには  
この古城は  
広すぎるし…

ヒマつぶし  
だよ♡



んあ…んあ…  
なんかアソコが  
あったかい…

身体の中から  
熱いうねりが  
うずいてくる…

紹介するよ

エレーナ！  
アリーナ！

何の御用ですか♡

ご主人様ア♡



ご褒美をあげよう

良い返事だ

私の妻のソフィアだ 今日から彼女の世話を頼むぞ

はい♡ かしこまりました♡♡





快樂の波に  
身も心も  
吞まれてしまえば

あふう…♡  
ご主人さまの触手  
大好きれすう♡♡

死ぬ気なんて  
なくなるさ

こ…こんな  
無関係の女性に  
手を出して…

…ルーク…  
もう性根も  
怪物なのね…

♡愛しているよ  
ソファイア

やっと二人に  
なれたんだ  
嬉しいだろ…？

わ…私のこと  
愛しているなら  
もう帰して…

こんな所…  
1秒でも  
いたくない!!



誰があんな  
下品な...



だ...大丈夫  
アトラスがきつと  
助けに来てくれる



なぜ  
帰りたがる？

ここにいれば  
快樂の中で  
暮らせるのに



一網打尽に  
してくれるわ

アトラスなら  
こんな怪物の  
ことなんか



魔王様

先ほどの品を  
お持ちいたしました

ガラ  
ガラ

ガラ



ガラ  
ガラ  
ガラ



ほーら  
ソフィア…

あれは  
誰だと思おう？



ん…  
ご苦労

我々に  
見せてくれ



あ…ああ…あ…

…アトラス!!

い……いやああああ……ッ!!

そ……そんな……  
どうして!?

ウソ……っ

か……彼は  
勇者でしょ……

勇者が死ぬなんて  
そんなバカな……

それとソフィア：  
キミの父君に書簡を  
送っておいたんだ

ソフィアさえ  
俺にくれば  
国を攻めたりは  
しないとね

アトラス率いる討伐隊を  
伝令残して全滅させたら  
父君はそれを承諾したと  
返事が来たよ

そ…そんなの  
ウソ…!!

あっ

じゃ…じゃあ誰も  
私を助けに  
来てくれないの？

ウソでしょ…!!

わ…私はずっと  
この怪物の  
オモチャに…!?

いや…っ  
いやあ……

いやあああああ  
あああ~~~~!!



あっ  
びん

あっ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ





き……気持ちをしつかり持って

ご……ご主人さまあもつと♡もつと……♡私めにください♡♡♡

耐えるの……!!  
本当に快楽に  
溺れてはダメ!!

ご主人さまあ♡♡  
アリーナお漏らししたので叱ってえ♡



あッ♡



ひあ……ああ♡♡♡

だ……  
大丈夫……

ふあ♡

あほ♡

愛されてるなら  
これ以上  
ヒドイめには  
あわないはず……!!

あひ♡



はぁ

はぁ

俺か…キミか…  
アトラスか…

最も罪深いのは  
誰だと思っ…？

ちゅ

ちゅ



ところで  
ソフィア…

俺はずっと  
考えているんだ



は…？

…!!



そうかな？  
親友だった  
俺をだまし…

婚約者から  
王女を奪った  
アトラスは罪人では  
ないのかい？



か…怪物になった  
あなたに決まって  
いるじゃない…!!

ちゅ  
ちゅ  
ちゅ



そ…それは…



キミだよ  
ソファイア

二人の男を  
手玉にとった  
キミが最悪だ…!!



く…く…くツ…

俺が一番罪深いと  
思うのが誰か  
教えてあげよう



………  
キミがアイツを  
誘惑したこと…

俺は  
知っているよ？



…な…っ

ど…  
どうして!?

わ…私は  
何も悪くない  
でしょ…?



き……き……  
気づいて  
いた……の……？

い……  
いつから……



な……!!

私は昔から  
美青年のアトラスが  
好きだった

アトラスは  
名誉欲があり  
王女の私が  
付け入るのは  
たやすかった

でも私は幼い頃から  
ルークとの結婚が  
決まっていた……

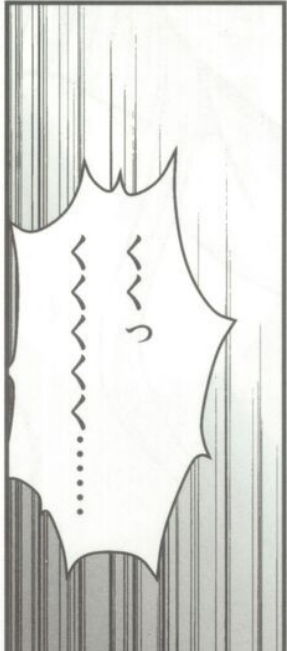
だから私は  
騎士団が  
魔王を倒した後



ウニョ  
ウニョ  
ウニョ  
ウニョ  
ウニョ

ルークを私の元へ  
おびき寄せて

魔王の最後の封印を  
アトラスにさせて  
勇者に仕立て上げた



くくっ  
くくくく……

ソフィアー……  
今さら  
慌てた顔をして  
どうした？

……俺が何も  
知らないとしても？

さあ……  
終わらない宴を  
始めようか♡



彼の不気味な  
笑顔を見て



私はやっと  
気づき……

そして  
絶望した

この男は  
私を愛してるから  
拉致したんじゃない



私に復讐するために  
拉致したのだ……

END

## 後記

こんにちは、星月めろんです。

今回は触手ファンタジー物でした！

去年の冬コミ発行予定でしたが、原稿を落として  
しまい…、夏発行となりました。そんなわけで  
実は前半と後半で6か月の空きがあります。

エルーンとドラフ娘は描いていて楽しかったです。

魔王とドラフ娘のドキドキ調教部屋って感じで  
お話作った方が良かったかもとか思いながら  
描いていました(笑)

次の同人のネタにしようかな…。

この本をお手に取ってくださり、ありがとうございます  
いました～！

## 触手王女の絶望

発行日 2016年8月14日

著者 星月めろん  
発行 めろんの星々  
<http://melonstars.net/>  
連絡先 [info@melonstars.net](mailto:info@melonstars.net)

印刷 表紙 グラフィック  
本文 ラック出版

- ◆禁・無断転載
- ◆この作品はフィクションです。実在の人物・  
団体・事件などにはいっさい関係がありません。



めろんの星々

成人向  
18歳未満購入不可

めろんの星々

親友を裏切り  
王女を奪った勇者



恋人を裏切った王女



友と恋人に裏切られ  
怪物となった男

最も罪深いのは誰か...  
愛と復讐のオリジナルR18触手陵辱漫画

